



## 完全保存版「自然素材住宅塾」



今の住まいと将来の住まいに役立つ情報満載

こんにちは。駿河屋の九代目当主一樹です。今日は室内空気についてお話したいと思います。新築やリフォームで健康障害を訴える方がいるのは、建材に含まれるホルムアルデヒドなどの化学物質が新建材や接着剤から放出されるからですが、それを実際に私たちはどれくらい体内に入れているのでしょうか。

口に入れる食べ物は気にする方が多いのですが、肺に入れる空気は意外と気にしない方が多いですね。特に男性より女性、大人より子供が影響を受ける室内空気。

今日はこのあたりを勉強しましょう。

それでは、今月も子育てママにお役にたてる、おうちの中で大切なこと、発信します！

### 【室内空気の大切さ】

突然ですが、皆さんは一日に何キログラムの空気を吸っていますか？

「空気を何キロ??」と思うかもしれませんが、水の中で水の重さを感じないように空気中では空気の重さを感じることは出来ません。でもちゃんと重さがあるんですよ。

ちなみに、食べ物は2キロ 水も2キロ程度とされています。空気はなんと20キロとされています。

食べ物は胃から吸収されて肝臓で分解されて体内に吸収されて、不要な物は排泄物として出て行きます。

しかし、空気は肺胞から直に血液であり血液中の不要なものは、発汗などしても、なかなか体外に排出されません。

そう考えると、意外に空気って無視できないと思いませんか？

さて、それでは家の中の空気って、なにで出来ているのか考えてみましょう。

すぐに思いつくのが畳や壁紙、フローリングなどの建材、芳香剤や消臭剤、殺虫剤 エアコンやヒーター、カーテンや家具なんかもそうですね。

そのほかにもガスレンジ、ストーブなどのCO<sub>2</sub>、タバコや人間もそうです。  
お風呂や調理の時の湿気や臭気もそうですし、パソコンやOA機器もです。

思いつくままに列記しましたがこうしたものが様々なものを発生しております。

ここで一つ、実際にあった出来事をお話しますね。

私たちは公共工事を行うこともありますが、学校などは、空気環境測定を行います。  
工事前に環境測定を行い、工事後も環境測定を行うことで、害の強い建材が使われていないか判断するのです。

当然、行政から委託された第三者機関が測定するのですが、  
あるとき、工事に関する建材が、行政の指示通りだったのにも関わらず、室内の化学物質の濃度が上がってしまったことがありました。  
調べて見ると、生徒さんの中国産の上履きが原因だったということです。

それくらい、室内にあるもので空気環境というものは左右されるのです。

たとえば

せっかく、本物の自然素材で住まいを造っても。

合板など木を接着剤で貼り合わせた家具を入れてしまったり、芳香剤や防虫剤を多用してしまったりするのは、住まいの空気環境的にも非常にもったいないことなんです。

もっと詳しい内容を知りたいと言う方はメルマガ  
社長の「自然素材住宅論」はこちらからお申込できます。(短縮URL)  
ニックネームでの登録も可能です。 <http://p.tl/h4XH>

